

中医学基础

廈門大學海外函授部

《中医学基础》勘误表

页	行	误	正	页	行	误	正
1	9	可食可用	可食用	25	3	不省不事	不省人事
1	倒7	膨胀病	臃胀病	26	8	肺与空气	肺与宗气
1	倒6	(营养医	(营养医)	26	8	因空气	因宗气
2	17	药物	药剂	26	14	语言	语声
3	7	《湿热篇》	《湿热条辨》	26	倒9	臌郁	臌郁
3	7	吴鞠道	吴鞠通	27	倒3	干燥	干燥
3	19	炮灸论	炮炙论	28	17	《脾胃论》	《脾胃论》
4	7	“气血辨证”	“气血津液辨证”	29	倒8	的密切	有密切
9	11—12	(见后)		29	倒16	(见后)	
11	倒1	(如阴、	(如精、	30	倒9	急燥	急躁
12	3	阴、血	精、血	30	倒6	烦躁	烦躁
12	4	阴、血	精、血	30	倒1	急燥	急躁
13	4	(实)热证	热(实)证	32	倒9	事物模糊	视物模糊
13	倒9	(阳)气	(阳气)	33	倒3	阳萎	阳痿
14	倒1	阳燥	阳躁	33	倒1	酸软	痿软
15	2	烦躁	烦躁	34	10	关键	关键
16	6	阳萎	阳痿	34	倒9	酸软	痿软
16	7	未必	未必	34	倒1	合也	合骨也
18	16—17(表)	(见后)		35	16	陈士铎	陈士铎
18	11	制己所胜	制己所胜	35	16	石宝秘录	石室秘录
18	12	己所不胜	己所不胜	36	倒8	的阑门	为阑门
18	12	己所胜	己所胜	38	10	开窍	开窍
18	14	制己所胜	制己所胜	38	倒2	(一)心与肺	1. 心与肺
18	16	己所不胜	己所不胜	40	16	胁病	胁痛
18	17	己所胜	己所胜	40	倒8	素问、	素问·
18	倒5	温熙	温煦	41	2	酸软	痿软
19	倒3	闻其五味	闻其五音	41	7	胸肋	胸肋
22	3	中医辨证	中医辨证	41	倒6	一方的	一方面的
23	倒3	全身及部	全身各部	42	倒8	各有共其	各有其
24	8	开窍于舌	开窍于舌	43	4	血蓄	蓄血

页	行	误	正	页	行	误	正
43	倒17	开窃	开窍	87	15	兰尾	阑尾
43	倒16	开窃	开窍	89	12	(见后)	
45	倒12	盲膜	育膜	90	1	正气存内	正气内存
46	12—13	(见后)		90	9	(见后)	
48	6	脏之气	肺之气	93	倒9	或搔痒	或瘙痒
49	倒8	其义助在	其意义即在	94	倒9	真要大论	真要大论》
51	7	水谷清气	水谷精气	95	5	寒邪或肌体	寒邪,或机体
54	1	“砭石”	用“砭石”	95	倒10	筋肉	肌肉
54	15	原群	原野	97	7	沾妄	谵妄
56	4	(见后)		99	7	状如又干	状,如干
57	倒1	元端	无端	100	4	温熙	温煦
58	13	末端	末端	100	12	烦躁 狂躁	烦躁 狂躁
58	17	(见后)		100	13	谵语	谵语
62	8	(见后)		100	13	诸燥 烦躁	诸躁 烦躁
62	10	(历兑)	(厉兑)	100	倒10	谵语	谵语
62	(表格下)	(历兑)	(厉兑)	101	7	便的火	便是火
63	倒3	状免	伏兔	101	10	烦躁	烦躁
64	倒3	足太阳	足太阴	101	16	虚大的	虚火的
69	倒9	(太溪)	(太谿)	102	2	相词	相同
72	倒3	①遍属	①循属	103	4	烦躁	烦躁
75	12	耳中	连耳中	103	10	狂躁	狂躁
76	(表格)	(见后)		103	11	烦躁	烦躁
82	2	才能月事	月事才能	103	倒8	发发生	发生
82	倒6	(见后)		104	1	生疾	生痰
84	9	(见后)		104	2	饥瘦	肌瘦
86	11	有酸、	有痠、	104	5	佝偻病	佝偻病
86	倒10	可以防治	可以预防	104	倒10	钩虫	(删去)
87	2	见府实	见腑实	104	倒9	饥瘦	肌瘦
87	2	舌痛	舌疮	104	倒9	搔痒	瘙痒
87	11	肋肋痛	肋肋痛	105	8	阳萎	阳痿
87	14	如胃脘痛	胃脘痛	105	10	跌打	跌打
				105	12	破换	破损

页	行	误	正	页	行	误	正
106	9	液的	液态的	150	2	(见后)	
107	倒6	跌扑	跌仆	152	12	如果内伤	如以内伤
109	倒12	狂燥	狂躁	152	14	阳萎	阳痿
110	14(首)	邪正	邪气	152	倒12(表)	(见后)	
110	14	相搏	相持	152	22(表)	或 淡	或色淡
110	倒12	相搏	相持	153	3	症状自然消失	症状消失
110	倒1	直受	直接	156	11	肠鸣	肠鸣
111	4	二、阳阴失调	二、阴阳失调	157	10	系列大热	系列火热
112	8	由脏腑	由于脏腑	157	12	寒症是假	寒证是假
113	17	继行	继则	158	6	寒证除外之后	寒证除外
115	3	辨别	辨别	158	8	热证除外之后	热证除外
115	13	辩证	辨证	158	16	多种,	多种多样,
116	7	迴光反照	迴光返照	159	7	眇白	眇白
118	15	聒耳	聒耳	159	9	眇白	眇白
122	21	舌宿面	舌面	160	倒7	进行病	进行性病
123	9	以将舌	可将舌	161	15	然经治疗	虽经治疗
124	倒3	仓惶	仓惶	161	倒5	这或是真	这便是真
125	倒4	测之	测知	163	倒7	四股	四肢
126	5	狂亡	狂妄	164	7	治咳	止咳
128	5	外感犯表	外邪犯表	166	2	偏体	遍体
128	倒10	潮汛	潮汛	167	倒11	肠鸣	肠鸣
130	倒6	临最床常	临床最常	167	倒3	苦栋根	苦楝根
131	倒7	胸肋	胸胁	167	倒3	槟榔	槟榔
134	(末尾增补)		衰则寐。	168	2	羸状	羸状
136	6	搔痒	瘙痒	168	6	苦栋	苦楝
136	倒7	(见后)		168	6	槟榔	槟榔
136	倒9	触诊	按诊	168	倒10	阳飞	阳气
137	3	。(见图)	(见图)。	168	倒10	无药力挽	急当救逆
137	倒11	手	手前臂	168	倒9	(见后)	
144	倒13	归类表	归类表	172	倒2	辩证	辨证
149	7	中医所的	中医所说的	180	倒1	常见	常见病
149	7	如患者	如疾患	181	1	常见	常见病

页	行	误	正	页	行	误	正
184	倒12	痰鸣	痰鸣	212	9	厥阳	肝阳
184	倒7	痰鸣	痰鸣	212	10	潜厥阳	潜阳
185	倒3	鸣,	鸣,	213	18	肝阴	肝阳
186	2	肠鸣	肠鸣	214	5	顽强	项强
188	倒9	红橘	橘红	214	倒3	鸡肉金	鸡内金
189	倒4	地粟	地栗(荸荠)	215	15	搔痒	瘙痒
190	3	酸楚	痠楚	215	20	搔痒	瘙痒
190	14	菹菜	菹菜	216	5	莢	吴茱萸
190	14	凤尾草	凤尾草	217	倒14(表)	阳萎	阳痿
190	18	菹菜	菹菜	218	11	痰鸣	痰鸣
190	18	凤尾草	凤尾草	218	18	痰鸣	痰鸣
192	倒10	肢肉	肌肉	219	倒4	卤门	卤门
194	12-13(表)	(见后)		220	倒2	目眩晕	晕目眩
194	16	肠鸣	肠鸣	222	倒9	腰臂	腰脊
194	倒9	肠鸣	肠鸣	223	倒7	灸甘草	炙甘草
195	倒16	水鸣音	水鸣音	225	倒6	细面	细麵
195	倒11	水鸣音	水鸣音	226	12	灯草	灯心草
198	10	耳鸣	耳鸣	227	1	辩证	辨证
199	1	灸甘草	炙甘草	227	5	是为	或为
199	12	灸甘草	炙甘草	227	16-17(表)	(见后)	
201	倒11	灸甘草	炙甘草	227	倒5	耳鸣	耳鸣
202	1	焦楂	焦山楂	228	1	耳鸣	耳鸣
202	倒16	豆卷	莱豆卷	228	13(表)	腰酸	腰痠
203	倒1	山查	山楂	228	13(表)	耳鸣	耳鸣
207	8	藏魂”，	藏魂，	229	1	贯膈	贯膈
207	11	原受精神	因受精神	229	7	或阳于气	或阳气
209	倒6、倒5	(见后)		229	倒10	贯膈	贯膈
210	2	堕胀	坠胀	229	倒8	《素问、	《素问·
210	10	燠肝	暖肝	230	12	耳鸣	耳鸣
210	14	搔痒	瘙痒	230	17	耳鸣	耳鸣
210	22	搔痒	瘙痒	231	倒13	气虚	气喘
				231	倒12	面气	面色

页	行	误	正	页	行	误	正
232	倒12	肠鸣	肠鸣	244	7	风疹块，	(删去)
232	倒7	肠鸣	肠鸣	244	8	皮肤疹块	皮肤风疹块
233	倒5	犯火	化火	244	倒5	芷血	藏血
234	4	百脉朝肺	肺朝百脉	244	倒3	痞块拒按	痞块刺痛拒按
234	倒11	已有	已有	244	倒2	有块	有血块
234	倒11	耳鸣	耳鸣	246	14	呃逆逐缓	呃逆逐缓
235	16	已十余年	已十余年	246	14	胸噎	胸膈
236	1	本列	本例	246	17	合柿蒂	加柿蒂
236	3	，半夏	、半夏	246	倒5	川栋	川楝
236	7	耳鸣	耳鸣	246	倒4	查	楂
236	倒12	已有	已有	247	7	理气为	理气用
236	倒7	查	楂	247	7	川栋	川楝
236	倒3	查	楂	247	倒2	淮小麦	淮小麦
237	6	己是	已是	249	11	傅变	传变
237	12	脾胃	脾胃	249	14	併病	并病
238	6	己近	已近	252	4	寒温	寒湿
238	8	右肋	右胁	252	倒7	衰疲	疲惫
238	8	尤其	尤其	254	7	烦燥	烦躁
238	9	困备	困惫	254	9	知母	知母
238	13	查炭	楂炭	254	9	瓜蒌	瓜蒌
238	16	未己	未已	254	14	脉来	脉来
239	倒9	今己	今已	254	倒12	循肋	循胁
239	倒8	腰酸	腰痠	255	2	衰备	衰惫
239	倒4	灸紫菀	灸紫菀	255	17	尅于	克于
239	倒2	己虚	已虚	255	倒7	川栋	川楝
239	倒1	酸痛	痠痛	256	倒8	伤寒与	伤寒六经辨证与
240	9	嗽己一周	嗽已一周	257	倒5	相结	相搏结
240	倒6	咳嗽夹血	咳嗽痰中夹血	258	5	失清毒	失清肃
240	倒5	萎靡	萎靡	258	7	宣喘平肺	宣肺平喘
241	6	气血液	气血津液	258	12	热化	热伏
241	倒11	为窜动作痛	为攻窜走动作痛	259	11	危垂	危重
242	倒1	子宫寒	子宫寒	259	倒10	血亏	血分

页	行	误	正	页	行	误	业
259	倒9	诂妄	谗妄	270	7	府实证	腑实证
260	倒1	诂	谗	270	10	府实证	腑实证
261	1	鼻促	气促	271	8	相府	相符
261	8	坐瓣	坐蓐	271	12	疾状	病状
261	倒5	以消化	以清化	272	13	不存的	不存在的
261	倒2	营血	营血辨证	272	倒11	活法	治法
262	倒2	辨证	辨证	272	倒9	缓其则治本	缓则治其本
263	3	脏腑	脏病	272	倒4	为, 比	为比
263	6	(见后)		275	2	谗治	诊治
263	倒12	津液	津液辨证	75	8	谗断	诊断
264	5	即出	既出	275	9	有看重	有着重
266	倒5	问·遗篇	问遗篇·	275	倒11	假之辩	假之辨
268	4	内腑	内脏	附录3	倒11	革拔	革拔
268	13	“本”	“治本”	附录4	2	铃方	铃方

页	行	误	正
9	11-12	《周易·录辞上》说	《周易·系辞上》说
18	16-17 (表)	$\begin{array}{c} \text{乘} \quad \text{侮} \\ \text{金} \rightarrow \text{木} \leftarrow \text{土} \\ \text{(不足)} \end{array}$	$\begin{array}{c} \text{乘} \quad \text{侮} \\ \text{金} \rightarrow \text{木} \leftarrow \text{土} \\ \text{(不足)} \end{array}$
29	倒16	壮盛, 痿软同脾……	壮盛、痿软, 同脾……
46	12-13	正气(……)正气存内	正气(……)内存
56	4	阳明太阴、少阴、厥阴、等,	阳明、太阴、少阴、厥阴等,
58	17	手少阴心; 足少阴肾	手少阴心经; 足少阴肾经
62	8	气街穴	气街(即气冲)穴
76	(表格)	$\begin{array}{c} \text{鼻} \rightarrow \text{连目} \cdots \cdots \\ \downarrow \\ \text{向} \cdots \cdots \end{array}$	$\begin{array}{c} \text{起} \\ \text{于} \text{(大敦)} \rightarrow \cdots \cdots \\ \text{大趾背} \end{array}$
		$\begin{array}{c} \text{起} \\ \text{于} \text{(大敦)} \rightarrow \cdots \cdots \\ \text{大趾背} \end{array}$	$\begin{array}{c} \text{鼻} \rightarrow \text{连目} \cdots \cdots \\ \downarrow \\ \text{向} \cdots \cdots \end{array}$
82	倒6	(五)阳跷、阴跷	(五)阳跷脉、阴跷脉

目 录

緒 論.....	1
一、中国医药学的发展概况.....	1
二、中医学的基本特点.....	4
(一) 整体观念.....	4
(二) 辨证论治.....	5
三、《中医学基础》的主要内容.....	6
第一章 阴阳五行学说.....	8
第一节 阴阳学说.....	8
一、阴阳学说的基本内容.....	9
(一) 阴阳的相互对立.....	9
(二) 阴阳的相互依存.....	10
(三) 阴阳的相互消长.....	10
(四) 阴阳的相互转化.....	10
二、阴阳学说在中医学中的运用.....	11
(一) 说明人体的组织结构.....	11
(二) 说明人体的生理现象.....	11
(三) 说明人体的病理变化.....	12
(四) 用于疾病的诊断.....	14
(五) 用于疾病的治疗.....	15
第二节 五行学说.....	16
一、五行学说的基本内容.....	16
(一) 对事物属性的五行分类.....	16
(二) 五行的生克乘侮.....	17
二、五行学说在中医学中的应用.....	18
(一) 说明脏腑的生理功能与相互关系.....	18

(二) 说明脏腑间的病理影响.....	19
(三) 用于诊断和治疗.....	19
小 结.....	20
第二章 脏 腑.....	22
第一节 五 脏.....	24
一、心.....	24
〔附〕心包.....	25
二、肺.....	25
三、脾.....	28
四、肝.....	30
五、肾.....	32
〔附〕命门.....	35
第二节 六 腑.....	35
一、胆.....	35
二、胃.....	36
三、小 肠.....	36
四、大 肠.....	36
五、膀 胱.....	37
六、三 焦.....	37
〔附〕一、脑.....	37
二、女子胞.....	38
第三节 脏腑之间的关系.....	38
一、脏与脏之间的关系.....	38
二、脏与腑之间的关系.....	41
三、腑与腑之间的关系.....	43
〔附〕脏腑主要功能归纳表.....	43
第四节 气、血、津液.....	44
一、气.....	44
(一) 气的分类与生成.....	44

(二) 气的功能·····	46
(三) 气的运行·····	46
二、血·····	47
(一) 血的生成·····	47
(二) 血的功能·····	47
(三) 血的运行·····	48
三、津 液·····	48
(一) 津液的生成、输布和排泄·····	48
(二) 津液的功能·····	49
四、气、血、津液之间的相互关系·····	49
(一) 气与血的关系·····	49
(二) 气与津液的关系·····	50
(三) 津液与血的关系·····	50
小 结·····	50
第三章 經 絡·····	53
第一节 经络的含义与组成·····	54
一、经络的含义·····	54
二、经络的组成·····	54
第二节 十二经脉(正经)·····	55
一、十二经脉概述·····	55
(一) 命 名·····	55
(二) 十二经脉的表里络属关系·····	56
(三) 十二经脉走向交接规律·····	56
(四) 十二经脉在头面、躯干、四肢的分布·····	57
(五) 十二经脉的流注顺序·····	57
(六) 十二经脉的“同气相通”·····	58
二、十二经脉的循行部位·····	59
(一) 手太阴肺经·····	59
(二) 手阳明大肠经·····	60
(三) 足阳明胃经·····	62
(四) 足太阴脾经·····	64

(五) 手少阴心经.....	65
(六) 手太阳小肠经.....	66
(七) 足太阳膀胱经.....	68
(八) 足少阴肾经.....	69
(九) 手厥阴心包经.....	71
(十) 手少阳三焦经.....	72
(十一) 足少阳胆经.....	73
(十二) 足厥阴肝经.....	75
第三节 奇经八脉.....	77
一、奇经八脉概述.....	77
(一) 含 义.....	77
(二) 特 点.....	77
(三) 作 用.....	77
二、奇经八脉的循行及其生理、病理.....	78
(一) 督 脉.....	78
(二) 任 脉.....	79
(三) 冲 脉.....	80
(四) 带 脉.....	82
(五) 阳跷脉、阴跷脉.....	82
(六) 阳维脉、阴维脉.....	84
第四节 经络的功能与应用.....	86
一、经络的生理功能.....	86
二、经络的应用.....	86
(一) 在病理上的应用.....	86
(二) 在诊断上的应用.....	87
(三) 在治疗上的应用.....	87
小 结.....	87
第四章 病因、病机.....	89
第一节 发 病.....	89

第二节 病 因	90
一、六 淫.....	92
(一) 风.....	93
(二) 寒.....	95
(三) 暑.....	96
(四) 湿.....	97
(五) 燥.....	98
(六) 火(温、热).....	99
二、疫 病.....	101
三、七 情.....	102
四、饮食劳逸.....	103
(一) 饮 食.....	103
(二) 劳 逸.....	104
五、外伤及虫兽伤.....	105
六、病理产物.....	105
(一) 痰 饮.....	106
(二) 瘀 血.....	107
第三节 病 机	108
一、邪正相搏.....	109
(一) 邪正相搏与虚实变化.....	109
(二) 邪正相搏与疾病轻重.....	109
(三) 邪正相搏与疾病转归.....	110
二、阴阳失调.....	111
(一) 阴阳偏盛.....	111
(二) 阴阳偏衰.....	112
(三) 阴阳偏盛、偏衰的发展.....	112
小 结.....	114
第五章 诊 法	115
一、望 神.....	115
二、望面色.....	116
三、望形志.....	117

四、望五官·····	118
五、望舌·····	119
六、望斑疹·····	123
七、望排泄物·····	123
八、望小儿指纹·····	124
第二节 闻 诊 ·····	125
一、听声音·····	125
二、嗅气味·····	127
第三节 问 诊 ·····	127
一、问寒热·····	127
二、问汗·····	129
三、问痛·····	130
四、问饮食口味·····	132
五、问大小便·····	133
六、问耳、目与睡眠·····	134
七、问经带·····	135
八、问小儿·····	136
第四节 切 诊 ·····	136
一、脉诊·····	136
二、按诊·····	144
小结·····	145
第六章 辨 証 ·····	148
第一节 八纲辨证 ·····	150
一、表里辨证·····	151
(一)表证·····	151
(二)里证·····	152
(三)表证与里证鉴别的要点·····	152
(四)表证与里证的关系·····	152
二、寒热辨证·····	153
(一)寒证·····	154

(二) 热证	154
(三) 寒证与热证的鉴别要点	155
(四) 寒证与热证的关系	156
(五) 寒热与表里的关系	157
三、虚实辨证	158
(一) 虚证	158
(二) 实证	160
(三) 虚证与实证的关系	160
(四) 虚实与表里寒热的关系	162
四、阴阳辨证	162
(一) 阴证与阳证	162
(二) 阴证与阳证的转化	163
(三) 亡阴、亡阳	163
〔附〕八纲辨证病案举例	163
第二节 脏腑辨证	169
一、心与小肠病辨证	170
(一) 心气虚	171
(二) 心阳虚	171
(三) 心阳虚脱	172
(四) 心血虚	172
(五) 心阴虚	173
(六) 心火亢盛	173
(七) 痰迷心窍	173
(八) 痰火扰心	174
(九) 心血瘀阻	174
(十) 小肠实热	175
(十一) 小肠虚寒	175
(十二) 小肠气痛	175
〔附〕心与小肠病案举例	175
二、肺与大肠病辨证	181
(一) 肺气虚	182
(二) 肺阴虚	182
(三) 寒邪犯肺	183
(四) 热邪壅肺	183
(五) 燥邪犯肺	184
(六) 痰湿阻肺	184

(七) 风水搏肺	184
(八) 大肠湿热	185
(九) 大肠液亏	185
(十) 肠虚滑脱	185
〔附〕肺与大肠病案举例	186
三、脾与胃病辨证	191
(一) 脾胃气虚	192
(二) 脾气下陷	192
(三) 脾不统血	193
(四) 气虚发热	193
(五) 脾阳虚	193
(六) 寒湿困脾	194
(七) 脾胃湿热	194
(八) 胃寒证	195
(九) 胃火(热)证	195
(十) 食滞胃脘	196
(十一) 胃阴不足	196
〔附〕脾与胃病案举例	196
四、肝与胆病辨证	205
(一) 肝气郁结	206
(二) 肝火证	206
(三) 肝血虚、肝阴虚	207
(四) 肝阳上亢	208
(五) 肝风内动	208
(六) 寒滞肝脉	210
(七) 肝胆湿热	210
(八) 胆郁痰扰	210
〔附〕肝与胆病案举例	211
五、肾与膀胱病辨证	216
(一) 肾阳虚	217
(二) 肾虚水泛	218
(三) 肾阴虚	218
(四) 肾气不固	219
(五) 肾精不足	219
(六) 膀胱湿热	220
〔附〕肾与膀胱病案举例	220

六、数脏(或脏腑)同病辨证	227
(一) 心肾不交	227
(二) 心肾阳虚	228
(三) 肺肾气虚(肾不纳气)	228
(四) 肺肾阴虚	229
(五) 肝肾阴虚	230
(六) 脾肾阳虚	230
(七) 脾肺气虚	231
(八) 心脾两虚	231
(九) 肝脾不调	232
(十) 脾胃不和	232
(十一) 肝胃不和	233
(十二) 肝火犯肺	233
(十三) 心肺气虚	234
〔附〕数脏同病病案举例	234
第三节 气血津液辨证	241
一、气病的辨证	241
(一) 气滞证	241
(二) 气逆证	241
二、血病的辨证	242
(一) 血瘀证	242
(二) 血热证	243
三、气血同病的辨证	244
(一) 气滞血瘀证	244
(二) 气血两虚证	245
(三) 气随血脱证	245
四、津液病的辨证	245
(一) 津液不足	245
(二) 水液停滞	246
〔附〕气血津液病案举例	246
第四节 六经辨证	248
一、太阳病证	249
(一) 表虚证(太阳中风)	249
(二) 表实证(太阳伤寒)	250
二、阳明病证	250